

令和5年度早池峰地域保全対策事業推進協議会 議事録

1 開催日時

令和6年3月25日（月） 10時00分～11時45分

2 開催場所

盛岡地区合同庁舎8階大会議室（盛岡市内丸11-1）

3 出席者

【協議会構成員（敬称略）】

中村 浩之（一般社団法人岩手県山岳・スポーツライミング協会）
中嶋 敬治（早池峰フォーラム実行委員会）
上平 玲子（早池峰の未来を考える女性の会）
菅原 克也（公益社団法人岩手県バス協会）
飛知和 比呂志（一般社団法人日本旅行業協会岩手県地区委員会）
太田代 剛 [協議会長]（岩手日報社）
加藤 重義（岩手南部森林管理署遠野支署）
葛西 貴仁（三陸北部森林管理署）
塩野 啓一（十和田八幡平国立公園管理事務所盛岡管理官事務所）
佐々木 健之 [代理出席]（花巻市大迫総合支所地域振興課地域支援室）
奥寺 孝光 [代理出席]（遠野市環境整備部環境課）
藤原 達也（宮古市川井総合事務所）
吉田 優 [代理出席]（岩手県商工労働観光部観光・プロモーション室）
亀田 健一 [代理出席]（岩手県県土整備部道路環境課）
酒井 淳（岩手県環境生活部自然保護課）
浅沼 玉樹（県南広域振興局保健福祉環境部）
福士 昭（沿岸広域振興局保健福祉環境部宮古保健福祉環境センター）

【随行者（敬称略）】

尾留川 修（岩手南部森林管理署遠野支署）
富樫 定史（三陸北部森林管理署）

【岩手県環境生活部自然保護課】

織茂 大樹 [自然公園担当課長]
岩渕 美保 [主任主査]
小野寺 明音 [主事]

【県南広域振興局保健福祉環境部（事務局）】

奥村 亮子 [環境衛生課長]
齋藤 弘毅 [主任主査]

【当日受付者（一般傍聴者及び報道機関）】

一般傍聴者3名、報道関係者2名

4 内容

- (1) 開会
県南広域振興局保健福祉環境部（事務局）奥村環境衛生課長により開会を宣言。
- (2) 会長選出
事務局から岩手日報社の太田代氏の会長就任について提案を行い承認された。
- (3) 議事

ア 令和5年度早池峰地域保全対策事業実施結果

県南広域振興局保健福祉環境部の齋藤主任主査から資料1により報告。

【概要】

- 早池峰クリーン&グリーンキャンペーンについて、登山客の混雑が見込まれる日を選んで実施する予定であったが、いずれの日も荒天により中止になったが、キャンペーンの一環として実施予定であった盗採防止パトロール、移入種駆除については日程を変更して実施したこと。
- ヒメコザクラ、ヒメスズムシソウの盗掘箇所を確認したこと。
- パトロール実施後の意見交換で、警察による手荷物検査やパトロールの実施についての公表が盗掘抑止に効果が期待できるという意見がでたこと。

【質疑応答】

- 太田代会長（議長・岩手日報社）
事務局から今年度の事業について報告がありました。今年度の活動を振り返っての反省点や問題点、補足、また来年度の活動へ向けての御提案等、皆さんから御発言いただきたいと思えます。ご意見ある方はよろしくお願ひします。
- 上平氏（早池峰の未来を考える女性の会）
希少種の生息場所について、管理員さんの間で知っている人、知らない人がいるので、管理員さんの研修会を開いたらよいと思ひます。
あと、セイヨウタンポポの駆除についてですが、小田越より2kmくらい向こうにもあるので、駆除範囲に入れた方がよいと思ひます。
- 太田代会長（議長・岩手日報社）
ありがとうございます。事務局から。
- 齋藤主任主査（県南広域振興局保健福祉環境部）
管理員間での希少種の生息位置について、情報共有を図るべきだという御意見かと思ひますが、研修会の開催については特に予定しておりません。関係市を通じてそのような意見があったことを管理員さんにお伝えしたいと思ひます。
セイヨウタンポポについては、小田越より向こうというのは宮古側にとひうことかと思ひますが、来年度はそちらまでを駆除範囲としたいと思ひます。
- 太田代会長（議長・岩手日報社）
その他皆様から御意見等ございますか。よろしいでしょうか。
それでは、事務局は先ほどの意見を参考に今後の事業を進めていただければと思ひます。よろしくお願ひします。

イ 部会報告

(ア) 自動車利用適正化部会

県南広域振興局保健福祉環境部の齋藤主任主査から資料2により報告。

【概要】

- 令和5年度の適正化対策の実施結果、令和6年度の実施計画について説明したところ特に質問意見等は無かったこと。
- 令和5年度のバスの運行見通しについて、コロナ前程度まで利用客の回復が見込まれるが、物価高騰による燃料費、人件費の上昇が懸念されるとの発言があったこと。
- 交通規制解除後の河原の坊駐車場付近の路上駐車場への対応について意見交換を行い、自然公園保護管理員の協力を得ながら実態把握に努めるとともに、駐車場が不足していることに関するHPへの掲載方法について検討を進めることとしたこと。

(イ) 山頂避難小屋あり方検討部会

岩手県環境生活部自然保護課の織茂自然公園担当課長から資料3により報告

【概要】

- 令和5年度の取組状況について報告したところ、特に質問意見等は無かったこと。

○ 令和6年度の取組（案）について説明したところ、携帯トイレの販売場所を拡大して欲しいとの意見があったこと。

○ 早池峰地域の携帯トイレの運営管理体制について検討するため、部会を2回開催したところ、次のとおり意見があったこと。

（1回目）

- ・ 既存の早池峰の協議会を利用して行政主導で実施していくのが良いと思う。
- ・ 資金管理の面からも行政が主体となって一元化した方が良い。
- ・ 他の全国的な事例も参考にしたいので示して欲しい。

（2回目）

- ・ 行政が主体となって組織運営をしてはどうか。
- ・ 部会構成員で現地の状況を確認してはどうか。

○ 早池峰フォーラム実行委員会からユネスコエコパークの資料提供とその説明があったこと。

（ウ） シカ対策部会

岩手県環境生活部自然保護課の織茂自然公園担当課長から資料4により報告

【概要】

○ 早池峰関連調査報告（県立博物館）

- ・ センサーカメラでの生息状況調査の結果、標高 1,630m以上で撮影頻度が増加（特にオス）しており、シカの滞在期間が長期化している傾向にあること。質問意見なし。
- ・ 食痕・植生の調査の結果、河原の坊登山道で、低木の枯死、植生の消失が進行しており、頭垢離で食痕が確認されたこと。小田越登山道では 1,350m 以下で裸地化や低木の枯死が進行中であり、1,550m 以上では食痕は確認されなかったこと。質問意見なし。

○ 国有林におけるニホンジカ対策事業概要（東北森林管理局）

標高 1,550m 付近に設置している防鹿柵内の希少種がほとんど消失していること。標高 1,000m 付近のヤブヒョウタンボクの食害防止のため、仮設防鹿柵を設置した。防鹿柵の設置の見直しについて説明があった。主な質問意見は次のとおり。

- ・ 鶏頭山等においてシカ捕獲が出来なかった原因は何か。
- ・ 宮古市側の調査結果を示して欲しい。
- ・ くくり罠の危険性についての対策は検討しているのか。

○ 早池峰シカ監視員の活動結果について

・ 自動撮影カメラによる調査の結果、河原の坊コースでは撮影頻度が減少傾向、小田越コースの標高 1,370m 以下の付近では増加傾向であったこと。鶏頭山の標高 950m 以下の付近でイノシシが撮影されたとの報告があった。

・ 花巻地域では、小田越え登山道付近で撮影頻度が増加、木の実の実りが悪く植生や樹木における食害増加が懸念されること、宮古地域ではヒョウタンボクの食害が確認されたこと。花巻及び宮古の両地域で 10 頭程度の捕獲を行ったこと。防鹿柵の高さ、防鹿柵以外の対策について質問があったこと。

○ 早池峰地域への防鹿柵の設置結果について

一部において、網のゆるみや支柱の傾斜が原因と思われるシカの侵入が見られること。主な質問意見は次のとおり。

- ・ 現在の防鹿柵の取組みで十分な効果があるか疑問である。設置範囲の拡大が必要だと思う。
- ・ 今後、部会でどのような検討をするのか整理が必要ではないか。
- ・ 国の補助金の活用や宮古市側の調査を検討して欲しい。

○ 現状と今後の取組み

捕獲の推進や、防鹿柵による希少種保護の取組み、設置後の保守点検の必要性和点検にあたっての課題を説明した。主な意見質問は次のとおり。

- ・ ICT の結果を教えて欲しい。
- ・ 柵の設置マニュアルを作成して作業者と確認できるようにして欲しい。

・雪解けの状況により、なるべく早く防鹿柵設置を行わないと、シカの侵入の方が早いおそれがある。

・柵設置後の保守点検の具体的な内容の検討が必要ではないか。

・部会とは別に柵の設置作業をする人と相談する機会が必要ではないか。

○ その他

・防鹿柵設置の見直しが必要ではないか。

・宮古市側の裸地化状況を部会の構成員で確認してはどうか。

・ハーフライフルの取扱いによって、捕獲数が減るのではないかと心配である。

【質疑応答】

○太田代会長（議長・岩手日報社）

3つの部会についてそれぞれ報告がありました。質問意見等ありましたら御発言願います。

○中嶋氏（早池峰フォーラム実行委員会）

先ず保全対策事業推進協議会に関してですが、小屋の工事は無事に終了してよかったと思うが、その後何か工事に関わって問題が生じていないかということを知りたいと思います。あと他の部会についてもいくつかまとめて質問を…。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

一つずつお願いします。

○中嶋氏（早池峰フォーラム実行委員会）

一つずつですね。じゃあまずそれをお願いします。

○織茂自然公園担当課長（自然保護課）

資料3の中にありますけど避難小屋の工事の結果、何か問題はなかったのかというご質問ですが、取り付けた2階の窓の枠が、今、破損してしまった状況でしたので、今後修繕をしていくということで今考えてございます。あとは、大きな構造に対しての問題は出ていないというところでございます。

○中嶋氏（早池峰フォーラム実行委員会）

その壊れた部分について、今は冬の時期なので何もできないと思うんですけども…、大丈夫なんですか…。なんというか…、それを見に行くことも出来ないし、そのへんの、壊れたものは直さなければならないし、それはそれでいいんですけど、そのへん現場は確認されているんですか。

○織茂自然公園担当課長（自然保護課）

具体的には情報提供していただいた方からの写真に頼っている状況でしたので、それをもとにですね、我々もまだ現地に入れないので、雪解けを待ってですね、現地を確認しながら対応したいなというところでしたので、今は何も現地は…すみません対応はしていない状況です。

○中嶋氏（早池峰フォーラム実行委員会）

あのお、すみません繰り返してね、あの、雪が吹き込んで、中、氷河状態になってることは考えられませんか。実は他の山なんですけど、私、焼石岳の小屋、金明荘に行ったことあるんですけど、2年続けて誰かが戸を閉めていかなかったがために、中が氷河になったんですよ。で、利用する人が、行ったパーティーみんなで、雪かきして、利用したって経験があるんですけど、その心配があるんじゃないでしょうか。あの、登山者からの情報は自然保護課に入っていないんですかね。

○織茂自然公園担当課長（自然保護課）

吹き込んでるんじゃないかというお話ですが、その可能性はあるかなと思います。ただ、実施、冬季に利用された方の情報は上がってきてませんので、今の状況は、私共の方では把握できていないという状況です。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

はい、ありがとうございます。その他、各部会の…、はい、お願いします。

○上平氏（早池峰の未来を考える女性の会）

今の部会のところですけども、携帯トイレの管理組織、今年中に多分、目途をつける感じの進め方で今進んでいますけども、第2回のところを書いては頂いてはいたんですが、部会構成員で現地確認してはどうかと書いているんですけども、まず最初の予定なんですけど、5月の準備作業、それと10月の撤去作業に部会のメンバー及び県の方どなたか参加してみてもどうでしょうか。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

5月と10月というのはどういう…、2箇所とか、そういうことですか。

○上平氏（早池峰の未来を考える女性の会）

5月は道路が開通してすぐに、携帯トイレ使えるように準備をしにボランティア10人位で行って、結構な作業するんです。まあ、最近雪が少ないので雪かきということは無いかも知れませんが、そういうことを含めた対応と、回収ボックス等出したり、販売ボックスを出したり、横断幕を出したりということをするんですが、管理するにあたってその辺も、管理の中に入ることになると思うので、見たことないところでしゃべるよりも、実際に1年間通してこんな形で運営されてるのかっていうのを見るいい機会じゃないかなって思ったものから。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

そこに行政の方が…。

○上平氏（早池峰の未来を考える女性の会）

ええ、それで、5月に関して、年によっては、山頂まで何人か行きます。雪の状況とか天気に拠るんですけど、そうすると山頂の状況も見られるということにはなるんですが、とりあえず、河原の坊と小田越だけでも参加してみたいかがでしようかっていう提案です。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

お誘いですがいかがでしょうか。

○織茂自然公園担当課長（自然保護課）

前向きに検討させていただきます。構成員の方もご都合があるかとお思いますので。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

ではよろしくお願ひいたします。はい、その他ございますか。

○中嶋氏（早池峰フォーラム実行委員会）

シカ部会に関して2点。報告の中にイノシシが撮影されたという、ちょっとこれも困ったなと思うんです。多分イノシシとシカでは食べるものも違うと思うんです。私の理解ではイノシシは主に例えばミミズとか土の中にある根っことかそういうのを掘り起こして食べるというような状況があると思うんですが、イノシシまで考えると大変なんですけど、このことに関して専門家の知見というか何かあった対策ら教えて欲しいというのが一つ、二つ目は資料の方に井上さんの方だと思うんですが、越冬地での捕獲を推進した方が良いのではないかという表現がありますが越冬地については、例えばこの辺にいっぱい居るよという所が特定されて捕獲が有効に進むような条件が整っているのかというあたりをどのように把握されているのかということで、イノシシの件とシカの越冬地の件について現在の方向性っていうか…説明願ひします。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

よろしくお願ひします。

○織茂自然公園担当課長（自然保護課）

イノシシとあとはシカの越冬地の件についてですが、具体的に部会の方では、そこまで踏み込んだ報告なり検討はしておりませんでしたので、今後有識者なり監視員さんとの情報交換を経ての状況把握に努めていきたいということで考えております。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

越冬地の観測地点をもう一回…。

○中嶋氏（早池峰フォーラム実行委員会）

資料4-6、「今後の課題と対応」の中に「捕獲」。「シカの越冬地での捕獲を推進」っていうこれが有効に、効果的に出来るのかっていうことでした。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

はい、その他は。はい。

○菅原氏（(公社)岩手県バス協会）

バス協会でございます。私の方からは資料2にあります自動車利用適正化部会の報告についてのところで、業界の状況などをちょっとお知らせして、御理解いただきたいと思って発言させていただきます。大きな2番の(2)の下に〔質疑、意見交換〕というところで、バス事業者からシャトルバス運賃の値上げを要望されており、今後検討していくという書きぶりのところがございますけれども、部会としてメンバーに選ばれているのが岩手県交通というふうに伺っていますし、実際に運行している会社は岩手県交通ではない会社であるとお聞きしましたけれども、運行しているバス事業者が単独で運賃の値上げを自分の会社の都合だけで言っていることではない、ということをご発言させていただきます。と言いますのは昨年の8月末に国土交通省から全国一斉に貸し切りバスの公示運賃が改正されまして、簡単に言いますと下限運賃というところなんですが、それが東北で20%ほど値上げされました。運行事業者がその運賃を下回った額で契約して運行した、ということが国交省の監査で発覚しますと1件につき60日間車両の運行を止めるという非常に重い処分を科せられる状況でございます。値上げの背景といたしましては、過去には平成26年に初めて貸し切りバスの下限運賃と上限運賃というものを定めて公示されましてそこからもう7~8年経つという状況の中で、昨今の燃料費の値上げですとか安全運行を確保するために点呼の様子を動画記録して、録画を残しておきなさいとか、そういった厳しい条件をクリアしなければ、監査の際に行政処分されてしまうという状況でございます。それから、昨今皆様ご承知のとおり、バス業界、人手不足でございまして、ドライバーを確保するためには、賃金を上げなくてはならない。その賃金の原資になるものはまさしく貸し切りバスの運賃、運賃の値上げということで、ドライバーの賃金の原資を確保しなければならないという状況でございますので、今契約している事業者が、自分の会社のことだけで、上げるのではないということをご理解いただいたうえで来年度のシャトルバス運行の契約をご検討いただきたいというお願いでございます。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

はい、ありがとうございます。事務局からなにか。

○齋藤主任主査（県南広域振興局保健福祉環境部）

シャトルバスの運賃については、花巻市さんが事務局をしています地域協議会の方で最終的に決定することになるかと思えます。花巻市さんの方で今何かお話しできる事、ございますか。

○佐々木上席主査（花巻市）

花巻市大迫総合支所の佐々木でございます。ただ今お話しいただいたとおり、運行事業者からも同じようにお話をいただいているところでございまして、それにつきましては協議会としましても要望のあった事業者様と引き続き協議しているところでございますので、今後決定した際には皆様にもお伝えできるかと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

はい、ありがとうございます。その他、無さそうですね。

続きまして協議の(3)、令和6年度の事業実施計画でございます。事務局から御説明願います。

ウ 令和6年度早池峰地域保全対策事業実施計画

県南広域振興局保健福祉環境部の齋藤主任主査及び岩手県環境生活部自然保護課の織茂自然公園担当課長から資料5により説明。

【概要】

- 令和6年度のキャンペーンについて主な内容を説明。
 - ・ 事前の広報活動については令和5年度と同様。
 - ・ クリーン&グリーンキャンペーンについて、登山者へのマナー啓発、高山植物の保護対策、防鹿柵の管理、路上駐車対策等を実施すること。
 - ・ トイレ問題への対応として、今年度同様に小田越への仮設トイレ等を設置する他、携帯トイレの販売管理体制について部会で検討を進めること。
 - ・ 高山植物の保護・登山等対策として、盗採防止に係る広報、盗掘情報の共有、合同パトロール、移入種駆除を実施すること。
 - ・ 早池峰地域の保全・ボランティア活動に著しい貢献を認める団体・個人について、協議会長名による表彰を行うこと。
 - ・ 早池峰地域で活動する県グリーンボランティア登録者の活動支援を行うこと。
 - ・ 各部会の取組みについては、部会報告のとおり実施すること。

【質疑応答】

○太田代会長（議長・岩手日報社）

はいありがとうございます。一通り来年度の計画について説明いただきました。皆様から御意見、御質問、また来年度の計画についての御提案等がございましたらお願いいたします。

はい、それでは、早池峰フォーラムさん

○中嶋氏（早池峰フォーラム実行委員会）

本日構成員の皆様方に協議会における意見ということで配布をさせていただきました。趣旨について説明させていただきます。

一つ目はですね、国定公園計画の見直しに着手していただきたいという趣旨でございます。早池峰国定公園は昭和57年1982年に環境庁へ申請し国定公園になっていますが、その後、社会情勢、自然環境等大きな変化があります。その間、具体的な公園計画の見直しというのはいま現在に至っております。昨年末に、私たちは第25回目のフォーラムを開催し、皆さんでこのことについてお話をしました。その時に頂いた意見やその後の検討における意見等について意見を具申したいと思っております。見直しにあたっての観点ですが、市町村合併で自治体名が変わっている点や、森林管理署の組織改編に伴って事業区であるとか林班の名前、施業管理計画等が変わっています。当時の計画の単なる読み替えではなく、現状の表記に更新するべきだ、というのが一つ目です。

二つ目は、土地利用の動向が変わってきています。早池峰の場合はほぼ全域が国有林です。伐採や植林の動向、公益機能の取扱いについて変動がありますので、このこと精査する必要があると思っております。

三つ目は、その後、森の評価、森林の扱い、特に国有林の扱いは、木材生産から、森林生態系保護、いわゆる公益機能を重視する形になっていまして、ご存じのように早池峰は森林生態系保護地域になっています。その後、これを発展させる形で、北上高地緑の回廊という制度であるとか、森林遺伝資源保護林などについて、計画書の中には、「権利制限」の項目がありますので、是非、こういった項目への記載は必要になってくるのではないかと考えています。

四つ目は、特別天然記念物、自然環境保全地域について、公園計画の運営計画にきちんと表記していただきたいと思っております。

五つ目は、車道や登山道が変動しております。今後どのように検証し、どのように対応すべきか是非検討していただきたい。

六つ目は、自然環境の新たな知見が得られています。当時から現在までに色々な研究者の方が地質であるとか生物などのいろいろ研究されていますので、その研究データを新しく検討して反映させていただきたい。

七つ目は、現在環境省では「生態系維持回復事業」に取り組んでいまして、自然環境を取り戻していく方向で取り組んでいます。これには、ニホンジカ対策を含めた包括的な対策の実現が期待できますので、そのためにも、公園計画を見直していくんだということがないと、

なかなか担保されづらいと聞いています。ぜひ公園計画の見直し、これは大変とても重い仕事になります。自然保護課の方々、県職員の方々に負担をかけるのですが、今それをやらないと、いつまでも対処療法的な対策になってしまいますので、是非計画の見直しを進めて頂きたい。少なくとも計画策定後、諸制度が導入されていますので事務的なバージョンアップは必要ですし、ニホンジカ対策の明確化はやっていただきたい。

ページをめくっていただいて、2のところ。先ほど計画の中で記載されてはいますが、携帯トイレの運営管理計画について。それぞれいろんな意見が出されているとは思いますが、県の事業として行ってきたということなので、県が、あるいは私の中では、「早池峰国定公園協議会」の存在が大きいなと考えていますので、この所掌事項として今後も対応していくべきではないかと考えています。私個人というよりは、皆さんでお話しした内容をまとめたものですので、このことについて取組んでいただきたいと考えています。少なくともこれまでの取組を後退させることがないよう、部会またこの全体会を構成する団体におかれましては知恵を出していただきたい。

国定公園は、県のお金でやらなきゃいけないのですので、国の財源が中々当てられないという弱みがありますが、岩手県民は、知恵を出すことと汗を流すことは厭わない、こうゆう姿勢で皆さんでやっていただきたいと切に願っています。ぜひご検討いただきたい。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

ありがとうございます。事務局の方から回答できる部分についてはお願いします。

○齋藤主任主査（県南広域振興局保健福祉環境部）

公園計画の改定とトイレの運営体制に関する意見ですが、いただいた意見について参考にさせていただきたいと思います。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

この他、来年度計画について何かありませんか。

○上平氏（早池峰の未来を考える女性の会）

来年度の早池峰クリーン&グリーンキャンペーンについて、取組の内容はわかったんですが、誰が、いつ、どのようにやるものなののでしょうか。要するに、ボランティアがする部分はどこなのでしょう。これから計画するというのでしょうか。特に（1）のマナー啓発について、いつやるのでしょうか。ちょっと具体的に。

○齋藤主任主査（県南広域振興局保健福祉環境部）

細かいところは、これからなんですけれども、今お問い合わせのあったマナー啓発について、マナーガイドの配布についてはシャトルバス乗車口での配布になると思います。携帯トイレの使用及び持ち帰りに係る普及啓発についてはボランティアさんにやっていただいているところですが、来年度、ボランティアさんが登山口に行くためのお手伝いができるような形になりましたので、ここはボランティアさん中心に考えておりました。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

他にございませんでしょうか。ないようでしたら、それでは、早池峰地域高山植物盗採対策実施要領について、事務局からお願いします。

エ 早池峰地域高山植物盗採対策実施要領について

県南広域振興局保健福祉環境部の齋藤主任主査から資料6により報告。

【概要】

○ 早池峰地域高山植物盗採対策実施要領の改正及び主な改正点について説明。

- ・ 関係機関に、生涯学習文化財課を追加すること
- ・ 関係機関の役割を整理すること
- ・ 上記を踏まえ、盗採情報の収集等に係るフローを整理すること
- ・ その他、文言の整理を行うこと

【質疑応答】

○太田代会長（議長・岩手日報社）

ありがとうございます。皆さんからご質問・ご意見はありませんでしょうか。何れ、県教育委員会さんが入っていただいて、という形になるということのようです。繰り返しにはなりますが、これは盗まれた後の対策ということですのでよろしいでしょうか。

○齋藤主任主査（県南広域振興局保健福祉環境部）

そうです。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

その他何かありますでしょうか。ないようですので、つづきまして（５）早池峰地域保全対策関係功労者表彰に係る審査について、事務局から説明をお願いします。

オ 早池峰地域保全対策関係功労者表彰に係る審査について

県南広域振興局保健福祉環境部の齋藤主任主査から資料 7 により報告。

【概要】

- 推薦者の選定基準について説明。
- 表彰候補者について、事務局案を提示。
- 上記候補者の選定理由について説明。

【質疑応答】

○太田代会長（議長・岩手日報社）

はい、ありがとうございます。事務局案について、ご意見・ご質問ありませんでしょうか。

特にないようです。早池峰地域保全対策関係功労者表彰については、11 月頃に事務局案のとおり実施するということについて承認いただくことにしてよろしいでしょうか。よろしければ拍手で承認をお願いします。それでは、早池峰地域保全対策関係功労者表彰について承認されました。（6）その他について、事務局から何かありますでしょうか。

○齋藤主任主査（県南広域振興局保健福祉環境部）

事務局としては特に用意しておりません。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

はい。その他皆さんからこの際何かご意見等ありませんでしょうか。なければこれで議事を終了し、事務局にお返ししたいと思います。

(4) 閉会

県南広域振興局保健福祉環境部（事務局）奥村環境衛生課長により閉会を宣言。